



ノゲシ(キク科) 葉は羽状に裂け、鋸歯があるが、さわっても痛くない。(オキノゲシは痛い)



コウゾリナ(キク科) 茎に赤い剛毛があり葉は披針形。



カントウタンポポ(キク科) 花を包む総苞片は反り返らず、先がとがる。



トウカイタンポポ(キク科) 総苞片は花びらに密着し、先に三角形のツノがある。



セイヨウタンポポ(キク科) 外側の総苞片が反り返る。



ミツバツチグリ(バラ科) 花は黄色く、小葉は3枚。(キジムシロの小葉は5~9枚)



カスマグサ(マメ科) 豆果に種子が4つ入っている。



キランソウ(シソ科) 葉が地面にはりつくようにのび、紫の唇形の花がつく。



マルバスマイレ(スミレ科) 花は白くて紫の筋があり、距は太く、葉は丸い。



パピリオナケア(スミレ科) 花は紫色で距が短く、葉は円心形でつやがある。



ニョイスミレ(スミレ科) 濃紫色の筋があり距は丸い。



タチヌノフグリ(ゴマノハグサ科) 直立した茎の葉腋に青い小さい花をつける。



アリアケスマイレ(スミレ科) 花は白くて紫色の筋があり、葉は細長い。



ニリンソウ(キンポウゲ科) 葉は3裂したあと2裂し、白い5弁花を2つつける。



シロスマイレ(スミレ科) 花は白くて葉は細長い。



ノヂシャ(オミナエシ科) 淡紫色の小さい花が数個ずつかたまると咲く。



ノミノツツリ (ナデシコ科) ハコベに似ているが
花弁の先が裂けていず、小さい。



サルトリイバラ (ユリ科) 葉は丸くて光沢が
あり、淡黄緑色の花を球状につける。



キュウリグサ (ムラサキ科) 花は淡青紫色で、
花序の先はサソリの尾のように湾曲。



オオアマナ (ユリ科) 茎先の集散花序に先が
6裂した白い花をつける。有毒。



ムシクサ (ゴマノハグサ科) 葉は細長く、花は白くて
小さい。ゾウムシが好む。



ウラシマソウ (サトイモ科) 紫褐色の仏炎苞の中
から釣り竿のような付属体を上にのぼす。



アカバナユウゲショウ (アカバナ科) 花は
淡紅色で紅色の脈がある。



クヌギ (ブナ科) 葉は長楕円形で鋸歯があり、
黄褐色で紐状の雄花序が垂れ下がる。



コナラ (ブナ科) 葉は倒卵形で鋸歯があり、淡褐色で紐状の雄花序が垂れ下がる。



ウワミズザクラ (バラ科) ブラシのような白い花を咲かせ、丸い果実をつける。



マグワ (クワ科) 雄花序は4~7センチの円柱形で、雌花序は4~10ミリ。



クサボケ (バラ科) 花はボケと同じであるが、背丈が大きくなる。



ヤマグワ (クワ科) 雄花序は円柱形、雌花序は丸くて長い花柱の先が二叉になっている。



ニガイチゴ (バラ科) 5枚の細長い花弁が波打つような花が咲く。



ヒメコウゾ (クワ科) 新枝の上部に毛鞠状の雌花序、下部に球形の雄花序がつく。

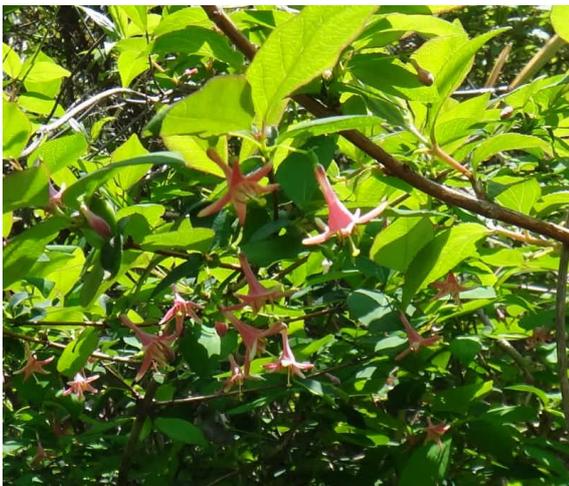


ミツバアケビ (アケビ科) 濃紫色の萼をもち

花弁のない花が総状に垂れ下がる。



ニワトコ(スイカズラ科) 枝先の円錐花序に
白い小さな花を密集してつける。



ウグイスカグラ(スイカズラ科) 淡紅色の
漏斗状の花をぶら下げる。